

(別添 1) システム構築詳細仕様書

No	大項目	小項目	機能要件
1	システム全般	システム構成	ユーザ側にはシステムを設置せず、インターネットを通じて必要に応じて利用者に提供するサービスであること。
2	システム全般	データセンター	SRC耐震構造で堅牢に建義されたデータセンター専用ビルであること。
3	システム全般	データセンター	建物への入換を、事前申出やカード認証などでチェックすること。
4	システム全般	データセンター	サバ室への入室を生体認証等の厳重な方法でチェックし、伴連れ防止の設備を有すること。
5	システム全般	データセンター	利用するデータセンターのサーバ室は、監視カメラ及びセンサーシステムによる監視を行っていること。
6	システム全般	データセンター	無停電電源装置経由の電源を利用可能で、重油備蓄タンクからタービン発電機複数台による無給油で72時間の連続運転で非常時にも対応すること。
7	システム全般	データセンター	サーバルームは適切な温湿度に保たれ、緊急時は地下備蓄タンクの冷水で空調を安定的に維持できる設備を有すること。
8	システム全般	データ管理とセキュリティ	バックアップは1日1回以上を行うこと。
9	システム全般	データ管理とセキュリティ	バックアップデータは、サービスを提供するメインのデータセンターから、大規模災害で同時に被災しない程度の距離(関東と関西など)が離れた別なデータセンターで保管すること。
10	システム全般	データ管理とセキュリティ	資料データベース管理では、利用する端末とサーバ間の通信はSecure Socket Layerプロトコルを用いた暗号化された通信をおこなうこと。
11	システム全般	データ管理とセキュリティ	資料データベース管理、資料データベース公開とともに指定したグローバルIPアドレスのみ接続を許可する機能を有すること。
12	システム全般	データ管理とセキュリティ	第三者の専門機関による脆弱性検査を1年に1回以上実施すること。
13	システム全般	インターネット	標準ウェブブラウザ(Edge, Chrome, Safari)で利用できるシステムとすること。
14	システム全般	インターネット	タブレット型端末(Apple社iPad等)に対応していること。
15	システム全般	システム全般	システムの運用、メンテナンスは受託者が実施すること、データのバックアップ、サーバOSやアプリケーションのセキュリティパッチ適用/アップデート、サーバ状況の監視、不具合時の対応、ハードウェアの増設等安定的な運用に必要な業務を行うこと。これらに係る費用が別途必要な場合、運用費に含めること。
16	システム全般	システム全般	データの登録件数、画像登録数、総容量に制限がないこと。また、総容量が増えても料金は変動しないこと。
17	システム全般	運用サポート	利用者からのシステム操作に対する質問の受け付けおよび回答を電話、メールで行うこと。
18	システム全般	運用サポート	オンラインヘルプを備えること。
19	システム全般	運用サポート	稼働率報告、障害発生報告、バージョンアップのお知らせをサイト上で行うこと。
20	システム全般	運用サポート	操作マニュアル、運用方法の解説など、運用をフォローする情報をサイト上で閲覧できること。
21	システム全般	ID/パスワード	資料データベース管理では、利用者はID/パスワードでログインすること。
22	システム全般	ID/パスワード	パスワードは各利用者が随時変更できること。
23	システム管理	ユーザ管理	システム管理者は、利用者ごとにアクセス権限を設定し、変更できること。
24	システム管理	分類項目設定	アクセス権限の設定は資料分類ごと、サブシステムごとに、利用不可、閲覧のみ、削除不可、制限なしが設定できること。
25	システム管理	分類項目設定	資料分類について、初期登録だけではなく運用開始後も、ユーザ側で自由に追加できること。
26	システム管理	分類項目設定	入力項目は利用者側で自由に追加、変更、削除できること。
27	資料データベース管理	登録機能	資料分類を追加する際、既に設定されている分類の項目体系を雛形としてコピーし、その雛形を改変することにより、効率的に新しい分類・項目を設定できること。
28	資料データベース管理	登録機能	データの新規登録画面から、新たなデータを登録できること。
29	資料データベース管理	登録機能	データの詳細画面に表示されたデータを上書きし、データを更新できること。
30	資料データベース管理	登録機能	データの詳細画面から、当該データを削除できること。その際、誤って削除することを予防するため確認メッセージが表示される。
31	資料データベース管理	登録機能	データの一覧画面から任意のデータを選択し、データを一括して削除できること。その際、誤って削除することを予防するため確認メッセージが表示されること。
32	資料データベース管理	データ一括処理機能	値を変更した項目は、保存が行われるまで、変更中であることが分かるような表示を行うこと。
33	資料データベース管理	データ一括処理機能	システムから出力したMicrosoft Excelテンプレートにデータを入力し、システムに読み込むことで、データを一括登録することができる。
34	資料データベース管理	データ一括処理機能	データ一括処理機能では、新規登録だけでなく、登録済みデータの一括更新もできること。
35	資料データベース管理	データ一括処理機能	一括登録を行う際のテンプレートファイルは、当館で既存のExcelファイルの項目並び順に合わせるように変更できること。
36	資料データベース管理	データ出力機能	データ出力機能では、すべての項目または任意の項目の選択により、検索結果リストの出力が行えること。検索条件がない場合は、登録されている全件数を対象とした出力とすること。
37	資料データベース管理	データ出力機能	指定した項目の出力順をマウスで変更できること。
38	資料データベース管理	データ出力機能	出力形式として、タブ区切りまたはカンマ区切りによるテキスト形式と、Microsoft Excel形式が選択できること。
39	資料データベース管理	検索機能	検索結果一覧から、画像をダウソードしたデータを選び、画像データを一括してダウソードできること。また、資料1点に複数の画像が登録されている場合は、100枚程度を上限にそれらすべてをダウソードできること。
40	資料データベース管理	検索機能	検索時に検索対象とする資料分類を複数選択できること。
41	資料データベース管理	検索機能	資料分類毎に登録されているデータ件数が表示されること。
42	資料データベース管理	検索機能	検索機能は、任意のキーワードに対してすべての資料項目を横断して検索できる「キーワード検索」と任意の資料項目に対して検索できる「項目指定検索」を備えること。
43	資料データベース管理	検索機能	「項目指定検索」は5つ以上の資料項目を掛け合わせ、詳細に検索できること。
44	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索は、検索文字列に対して「含む」「含まない」「完全一致」「前方一致」「後方一致」「以上」「以下」「入力値あり」「入力値なし」「範囲指定」から選択できること。
45	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索は、数値、日付項目に関しては、数値や日付をハイフンでつないだ範囲指定ができる。
46	資料データベース管理	検索機能	システム管理者は、項目指定検索の対象となる項目を事前に設定しておくことができる。
47	資料データベース管理	検索機能	項目指定検索では、指定する項目を設定項目の中からテキスト検索できること。
48	資料データベース管理	検索機能	検索結果の一覧表示では、表示する項目を利用者が自由に設定できること。検索結果表示項目の設定は、ユーザ個人への反映と館全体への反映を選択できること。
49	資料データベース管理	検索機能	旧字異体字・類義語辞書を登録し、登録された旧字、異字体、類義語での検索ができる。登録は管理者権限を持つ利用者が画面上から任意のタイミングで行えること。
50	資料データベース管理	資料サブシステム	資料詳細画面では、画面上に画像が常に表示されていること。
51	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に付随する、画像ファイル及び画像情報、貸出履歴、修復履歴、来歴、移動歴、参考文献が複数登録できること。
52	資料データベース管理	資料サブシステム	検索結果の一覧表では、文字情報、画像情報、文字画像情報の3パターンで切り替えることができる。
53	資料データベース管理	資料サブシステム	登録画面からPCやサーバーに保存している画像ファイルを参照、指定し、資料に関連する画像を登録できること。
54	資料データベース管理	資料サブシステム	資料画像は部分拡大表示およびスライダーによる拡大率の変更ができる。
55	資料データベース管理	資料サブシステム	拡大画像の表示で90度ごとの画像回転がワンクリックでできること。
56	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、180pixel×180pixelのサムネイル画像を登録できること。
57	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、PDFファイルを登録できること。
58	資料データベース管理	資料サブシステム	資料に対して、Youtubeの動画リンクを登録できること。登録後、画像エリアにYoutube動画のサムネイルと再生ボタンが表示される。再生ボタン押下時には実際に再生が可能のこと。
59	資料データベース管理	資料サブシステム	画像を登録すると、システムで表示する複数のサムネイル画像を自動生成すること。
60	資料データベース管理	資料サブシステム	画像のキャッシュを登録できること。
61	資料データベース管理	資料サブシステム	画像のクリップを登録できること。
62	資料データベース管理	資料サブシステム	代表画像を設定できること。また、代表画像は登録画像中の先頭に表示されること。
63	資料データベース管理	資料サブシステム	画像を所定の場所にドラッグ＆ドロップすることで画像登録ができる。
64	資料データベース管理	日常業務サブシステム	利用する期間(開始と終了の日付)を登録、変更することができる。
65	資料データベース公開	インターネット公開	一般公開可能な資料については、インターネット上での公開を行えること。
66	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面は、検索トップ・検索結果一覧・検索結果詳細の3段階の画面を基本とすること。
67	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の即時停止/開始がシステム管理者により行えること。
68	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の検索トップで使う検索項目、検索結果一覧で表示する項目を、検索結果の詳細で表示する項目を、編集画面で自由に設定できること。また、複数の大分類がある場合、詳細情報で表示する項目は、大分類ごとに別々の設定ができる。
69	資料データベース公開	インターネット公開	グローバルIPアドレスを指定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。
70	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開ページにID、パスワードを設定することによって、限定的にインターネット公開が行えること。
71	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の検索トップ画面では、選択肢をチェックボックスとともに表示し、複数の選択肢を選んで検索することができる。
72	資料データベース公開	インターネット公開	検索結果一覧で表示する件数をフルダッシュで切り替えることができる。
73	資料データベース公開	インターネット公開	検索結果一覧で表示する件数の初期値を編集することができる。
74	資料データベース公開	インターネット公開	検索結果一覧で検索キーワードをハイライト表示できること。
75	資料データベース公開	インターネット公開	日付など、範囲を指定しての検索ができる。
76	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開前にプレビュー画面で公開内容やレイアウトの確認が行えること。
77	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開設定を下書き保存できること。
78	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開の際、公開される資料サブシステムの項目の名称を任意の別名に変更できること。
79	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面で、作家(人物)の50音順リストが表示され、そこから作家(人物)を選択し、その作家(人物)の作品・資料が一覧表示されること。
80	資料データベース公開	インターネット公開	資料に対するYoutubeの動画リンクを公開できること。その際、画像エリアにYoutube動画のサムネイルと再生ボタンが表示される。再生ボタン押下時には実際に再生が可能のこと。
81	資料データベース公開	インターネット公開	インターネット公開画面の詳細画面では、「拡大画像」ボタンにより拡大画像を表示できること。また、拡大画像の表示・非表示については、編集画面で選択でき、非表示とした場合は、「拡大画像」ボタン自体も非表示となること。
82	資料データベース公開	インターネット公開	拡大画像の表示で90度ごとの画像回転がワンクリックでできること。
83	資料データベース公開	インターネット公開	画像にキャッシュが登録されている場合に、インターネット公開検索の資料詳細画面にて画像部分にキャッシュを表示できる。
84	資料データベース公開	インターネット公開	資料管理にて登録済みの閲覧資料を公開システムへ表示できること。閲覧資料はそれぞれ詳細情報を表示できること。
85	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページ全体、資料1点ずつなどのアクセス数をカウント、集計するために、Googleアナリティクスを利用できること。
86	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページにディスクリジョン(検索エンジン用の概要文・説明文)を設定することができる。
87	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページに表示する説明文は、文章が長くなるなどの場合はボップアップ表示ができる。また、ページに記述するかポップアップ表示するかは、設定画面で選択できること。
88	資料データベース公開	インターネット公開	公開ページに表示する説明文の設定画面では、ワープロソフトと同様に文章を自由に記述でき、フォントの変更や表の挿入などが自由にできること。
89	資料データベース公開	インターネット公開	スマートフォンで閲覧する際に、文字やボタンが縮小されるのではなく、スマートフォンで見やすいレイアウトに自動的に変更される。
90	資料データベース公開	インターネット公開	タッチパネル端末用にボタンを大きくするなどの適正化を図ったデザインを選択できること。
91	資料データベース公開	インターネット公開	公開される画像のうち、拡大画像については、不正利用を防止するための電子透かしを埋め込むこと。その際、作業負担を軽減するために、埋め込みは画像登録時に自動で行うこと。